

学校経営推進費 評価報告書（2年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立福泉高等学校
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	1 進級卒業率の向上 2 理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数の増加 3 学校教育自己診断「学校が楽しい」「進路・生き方を学ぶ」の生徒肯定回答率の向上
計画名	農業体験学習「ふくいずみアグリまるしえ」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	3 「他者と協働できる力」の育成 (2) 家庭・地域等と連携して安全で安心な学校づくりを進め、生徒の自己理解を深め、自尊感情・自己有用感の向上を図る。 ・PTA や地域との交流活動（防災教育・ホテル鑑賞会・農業体験等）やきめ細かな情報提供を通じて、開かれた学校づくりを進める。
事業目標	<p>「ふくいずみアグリまるしえ」とは、「ふくいずみ：福泉高校」「アグリ：agriculture（農業）」「まるしえ：marchè（市場）」からなる造語であり、農業体験学習を通じて福泉高校を様々な人々が集う地域の拠点とする事業の呼称である。</p> <p>具体的には、校内菜園「ふくまるファーム」と隣接する特別養護老人ホーム「なかよしファーム」および就労支援B型施設「実里」で生徒が大豆・野菜・果物を栽培して収穫する。地域の高齢者・障がい者・幼児・児童と協働する中で、生徒の主体性や協調性を育み自尊感情を高める。さらに、多様な交流の中で食品を生産・販売している企業とコラボしながら収穫物を使用した商品「ふりかけ」、「バーガー」を開発し、福泉高校の魅力を外部に発信する。</p> <p>このことにより、生徒の成長とともに事業の成果を進級卒業率の向上及び進学者数の増加につなげていく。</p>
整備した 設備・物品	<菜園用具一式> 苗・種・培養土・肥料・苦土石灰・堆肥・寒冷紗・園芸ネット・園芸支柱・プランター、等 <生徒用農具一式> 農作業着・長靴・軍手・レインコート・スコップ・鎌・鍬・レーキ・一輪車、等 <菜園整備一式> 菜園看板・シャッター倉庫・角材 <農機一式> 耕運機・軽トラック <調理器具一式> ベーカリーレンジ <商品開発一式> シール・卓上メニューボード
取組みの 主担・実施者	主担者 ふくまる実行委員会（有志 10 名） 実施者 （1年め） ふくまる実行委員会・生活指導部・生徒支援部・農業体験同好会
本年度の 取組内容	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教育課程に定められた活動を中心に取り組んだ。</p> <p>具体的には、環境科学コース学校設定科目「生命科学（3年）」の授業において、既存のカリキュラムに「ふくいずみアグリまるしえ」のコンセプトを取り入れた。本事業で整備した設備や物品を効果的に学習活動に活用し、田植え・稲刈り・植え・収穫等では、地域の田畑や校内菜園ふくまるファームで農業体験を実施した。</p>

成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ① 進級率（平成 30 年度比 7 % 増）…………… 1 年 93%・2 年 95% ② 卒業率（平成 30 年度比 7 % 増）…………… 79% ③ 理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数…………… 25 名 ④ 学校教育自己診断（生徒） 「学校が楽しい」肯定回答率…………… 79% 「進路・生き方を学ぶ」肯定回答率…………… 84%
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ① 進級率（令和 2 年度 1 年 76%・2 年 88%）…………… (△) ② 卒業率（令和 2 年度 81%）…………… (○) ③ 理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数（29 名）…………… (○) ④ 学校教育自己診断（生徒） 「学校が楽しい」肯定回答率 70%…………… (△) 「進路・生き方を学ぶ」肯定回答率 84%…………… (○)
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 年めの取組みを継続、改善し、より多くの生徒が参加する事業に発展させる。 ・ 教科、ホームルーム、生徒会等、既存の教育活動と連携させ、学校全体として取り組む。 ・ 全教員による取組みになるように、OJT や研修を通じて本事業を浸透させ、より計画的に実施する。 ・ 部活動等を通じて、地域のイベントや自治活動に参加する。その中で本事業の周知や農作物・商品の販売（募金・寄付による社会貢献）を行い、福泉高校が地域の拠点となるようにしていく。 ・ 特別活動や総合探究の時間を通じて、農業体験や商品制作販売を実施する。生徒の仲間づくりや居場所づくりを支援し、生徒保護者が安心して過ごすことができる学校づくりにつなげる。 ・ 進級率、卒業率、進学者数を向上させ、生徒が本事業で得られた学びを生かして進路を選択したり、将来を設計したりできるように支援する。 ・ 感染症対策を徹底し、食品衛生に配慮しながら、3 年めの目標であるオリジナルバーガーを製作する。第 2 学年の「YELL プロジェクト」とコラボし、医療や飲食に携わる人々を元気づける企画を実施する。 ・ コロナ禍により今年度は企業とコラボ連携した取組みが行えなかった。来年度は、報償費や旅費を活用し、学校地域の活性化につながる取組みを実践する。

3. 事業費報告

今年度事業費総額	131,205	円
----------	---------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

積算内訳	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額	
	1 報償費	1					
		2					
		3					
						小計	¥0
	2 旅費	1	先進校視察		¥1,280	2	¥2,560
		2					
		3					
						小計	¥2,560
	3 消耗需用費	1	菜園用具一式		¥78,013	1	¥78,013
2		燃料費		¥20,000	1	¥20,000	
3							
					小計	¥98,013	
4 維持需用費	1	校内菜園ファーム水道料金		¥30,632	1	¥30,632	
	2						
	3						
					小計	¥30,632	
5 役務費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
6 委託料	1						
	2						
	3						
					小計	0	
7 使用料 及び賃借料	1						
	2						
	3						
					小計	0	
8 備品購入費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
9 工事請負費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
10 負担金・補助 及び交付金	1						
	2						
	3						
					小計	0	
					合計	¥131,205	